



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場会社名 株式会社 栗本鐵工所  
 コード番号 5602 URL <http://www.kurimoto.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 秀明  
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画室長 (氏名) 生越 勝弘  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月5日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6538-7719  
 平成25年12月9日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	46,599	2.1	1,962	△25.5	1,590	△30.0	1,831	16.6
25年3月期第2四半期	45,641	7.5	2,635	168.4	2,272	289.9	1,569	254.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,766百万円 (235.4%) 25年3月期第2四半期 825百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	13.85	—
25年3月期第2四半期	11.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年3月期第2四半期	122,423		48,403		39.3	
25年3月期	129,934		45,905		35.1	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 48,067百万円 25年3月期 45,586百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
26年3月期	—	2.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,000	0.8	4,500	△23.6	3,500	36.7	3,000	3.5	22.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	133,984,908 株	25年3月期	133,984,908 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	1,791,533 株	25年3月期	1,783,413 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	132,197,955 株	25年3月期2Q	132,208,191 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策の効果等を背景に景気回復の兆しが見られる一方で、円安の影響による輸入価格上昇、欧米諸国における財政問題や新興国の成長鈍化に対する懸念等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は化学装置部門において、大型工事物件の売上が減少しましたが、鉄管部門で補正予算編成に伴う発注が堅調であったこと、化成品部門で電力、農水向け製品の出荷が増加したことなどにより、売上高は前第2四半期連結累計期間比958百万円増収の46,599百万円となりました。

利益面では、「機械システム事業」における減収の影響などにより、営業利益は1,962百万円(前第2四半期連結累計期間比673百万円減益)、経常利益は1,590百万円(前第2四半期連結累計期間比682百万円減益)となりました。四半期純利益は、特別損失の減少及び繰延税金資産の積み増しに伴い法人税等調整額を戻し入れたことにより、1,831百万円(前第2四半期連結累計期間比261百万円増益)となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

「パイプシステム事業」は、売上高につきましては、バルブ部門において、電力・鉄鋼分野や海外案件の売上が減少となりましたが、鉄管部門において、補正予算編成に伴う発注が堅調であったことなどにより、前第2四半期連結累計期間比2,045百万円増収の27,134百万円となりました。

営業利益につきましては、バルブ部門で減収による減益に加え、売上構成の変化に伴い利益率が低下したものの、鉄管部門の増収による増益などにより、前第2四半期連結累計期間比8百万円増益の1,524百万円の営業利益となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、化学装置部門において、大型工事物件の売上が減少したことなどにより、前第2四半期連結累計期間比2,476百万円減収の10,005百万円となりました。

営業利益につきましては、減収による減益などにより、前第2四半期連結累計期間比798百万円減益の16百万円の営業損失となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、化成品部門において、電力、農水向け製品の出荷増、建材部門において、高速道路向け消音製品の前倒し出荷に加え、第2四半期連結会計期間において日本カイザー(株)を連結子会社化したことなどにより、前第2四半期連結累計期間比1,389百万円増収の9,459百万円となりました。

営業利益につきましては、増収による増益などにより、前第2四半期連結累計期間比222百万円増益の378百万円の営業利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品、投資有価証券などが増加した反面、受取手形及び売掛金、現金及び預金などの減少により、前連結会計年度末比7,510百万円減少の122,423百万円となりました。

一方、負債におきましては支払手形及び買掛金、短期借入金、長期借入金などの減少により、前連結会計年度末比10,008百万円減少の74,020百万円となりました。

純資産におきましては、四半期純利益の計上、その他有価証券評価差額金などの増加により、前連結会計年度末比2,497百万円増加の48,403百万円となりました。

《キャッシュ・フローの状況》

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より3,428百万円減少の15,660百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は518百万円となりました。これは売上債権の減少による資金の増加、たな卸資産の増加による資金の減少、仕入債務の減少による資金の減少などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1,129百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出、子会社株式取得による支出などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は2,822百万円となりました。これは主に短期借入金、長期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想は平成25年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,111	15,682
受取手形及び売掛金	39,629	32,657
商品及び製品	9,034	10,811
仕掛品	6,877	6,573
原材料及び貯蔵品	2,269	2,255
その他	2,251	2,636
貸倒引当金	△98	△109
流動資産合計	79,075	70,507
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,870	19,870
その他(純額)	16,387	16,257
有形固定資産合計	36,257	36,127
無形固定資産		
その他	196	533
無形固定資産合計	196	533
投資その他の資産		
投資有価証券	11,408	12,706
その他	3,486	3,147
貸倒引当金	△491	△599
投資その他の資産合計	14,403	15,254
固定資産合計	50,858	51,915
資産合計	129,934	122,423

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,835	22,862
短期借入金	29,189	27,633
未払法人税等	561	169
引当金	2,127	1,391
その他	5,789	5,339
流動負債合計	66,503	57,397
固定負債		
長期借入金	13,271	12,317
退職給付引当金	3,299	3,315
その他の引当金	7	—
その他	947	990
固定負債合計	17,524	16,622
負債合計	84,028	74,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,959	6,959
利益剰余金	6,530	8,097
自己株式	△388	△390
株主資本合計	44,288	45,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,298	2,214
その他の包括利益累計額合計	1,298	2,214
少数株主持分	319	336
純資産合計	45,905	48,403
負債純資産合計	129,934	122,423

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	45,641	46,599
売上原価	34,173	35,383
売上総利益	11,467	11,216
販売費及び一般管理費	8,831	9,254
営業利益	2,635	1,962
営業外収益		
受取配当金	104	131
その他	174	166
営業外収益合計	278	298
営業外費用		
支払利息	279	248
その他	362	421
営業外費用合計	641	670
経常利益	2,272	1,590
特別利益		
投資有価証券売却益	7	—
特別利益合計	7	—
特別損失		
投資有価証券評価損	415	—
減損損失	0	0
その他	0	—
特別損失合計	415	0
税金等調整前四半期純利益	1,864	1,590
法人税、住民税及び事業税	125	87
法人税等調整額	153	△348
法人税等合計	279	△260
少数株主損益調整前四半期純利益	1,584	1,850
少数株主利益	14	19
四半期純利益	1,569	1,831



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,584	1,850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△759	916
その他の包括利益合計	△759	916
四半期包括利益	825	2,766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	810	2,747
少数株主に係る四半期包括利益	14	19

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,864	1,590
減価償却費	1,079	1,099
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△87	119
受取利息及び受取配当金	△106	△154
支払利息	279	248
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	6,912	6,760
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,872	△1,360
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,894	△6,239
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	94	16
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△7	—
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	415	—
有形及び無形固定資産除却損	19	75
その他	△1,366	△1,171
小計	3,331	984
利息及び配当金の受取額	194	240
利息の支払額	△283	△253
法人税等の支払額	△171	△452
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,072	518
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△0	—
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△3	△3
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	21	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△691	△1,049
有形及び無形固定資産の売却による収入	1	4
有形固定資産の売却に係る手付金収入	—	570
有形固定資産の売却に伴う支出	—	△51
関係会社の減資による収入	79	—
関係会社株式の売却による収入	0	—
関係会社出資金の払込による支出	—	△120
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△500
貸付けによる支出	—	△100
貸付金の回収による収入	7	1
資産除去債務の履行による支出	—	△120
その他	△97	239
投資活動によるキャッシュ・フロー	△682	△1,129
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,080	△1,320
長期借入れによる収入	—	180
長期借入金の返済による支出	△1,344	△1,369
社債の償還による支出	△11	△11
自己株式の取得による支出	△1	△2
配当金の支払額	△263	△263
少数株主への配当金の支払額	△1	△2
リース債務の返済による支出	△27	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,729	△2,822
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△384	△3,428
現金及び現金同等物の期首残高	19,646	19,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,262	15,660

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	25,089	12,482	8,069	45,641	—	45,641
セグメント間の内部売上 高又は振替高	83	30	365	479	△479	—
計	25,172	12,512	8,435	46,121	△479	45,641
セグメント利益	1,516	782	156	2,455	180	2,635

(注) 1 セグメント利益の調整額180百万円には、セグメント間取引消去26百万円、各報告セグメントが負担する販売管理費、一般管理費、試験研究費の配分差額324百万円及びたな卸資産の調整額△170百万円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	27,134	10,005	9,459	46,599	—	46,599
セグメント間の内部売上 高又は振替高	167	—	924	1,091	△1,091	—
計	27,301	10,005	10,383	47,691	△1,091	46,599
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,524	△16	378	1,886	75	1,962

(注) 1 セグメント利益の調整額75百万円には、セグメント間取引消去21百万円、各報告セグメントが負担する販売間接費、一般管理費、試験研究費の配分差額359百万円及びたな卸資産の調整額△305百万円が含まれています。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。